



2021年1月20日

各 位

ENEOSは東京都の水力発電所由来の電気を販売します！

当社（社長：大田 勝幸）は、東京都交通局が公募型プロポーザル方式で実施した「多摩川第一発電所外2か所の水力発電所で発電する電気の売却先選定」で採択され、東京都交通局が保有する多摩川水系の3水力発電所（多摩川第一発電所、多摩川第三発電所、白丸発電所）から発電された地産地消の再生可能エネルギーを販売しますので、お知らせいたします。

水力発電は、水量と高低差を持つエネルギーで水車を回転させ、水車に直結した発電機を回転させて発電します。太陽光や風力などの発電が気象条件に左右される再生可能エネルギーであるのに比べ、発電量をコントロールすることができることに加え、安定的に発電できるメリットがあります。

当社は、東京都内の業務用高圧需要家の皆様を対象として、水力発電所由来の電気を活用した再生可能エネルギーメニューを新設し、2021年度から3年間、合計約3億kWhの販売を目指します。また、本メニューをご利用いただく需要家の皆様を対象とし、水力発電所を紹介する機会を提供する予定です。

近年の再生可能エネルギーへの関心の高まりやRE100※加盟企業の増加を踏まえ、当社は2019年度から法人向けの再生可能エネルギー由来の電気販売を開始し、環境志向の高い需要家の皆様にご利用いただいております。これまでの取り組みに加え、本メニュー展開を開始することで、さらなる再生可能エネルギーの認知度向上と有効活用を推進いたします。

当社は、グループ長期ビジョンにおいて、2040年時点でのカーボンニュートラルを掲げており、今後も、低炭素・循環型社会の実現に向けて、地産地消エネルギーの推進に積極的に取り組んでまいります。

※使用電力を100%再生可能エネルギーにすることを目標に取り組んでいる企業。

2021年1月時点で46社の日本企業が参加。

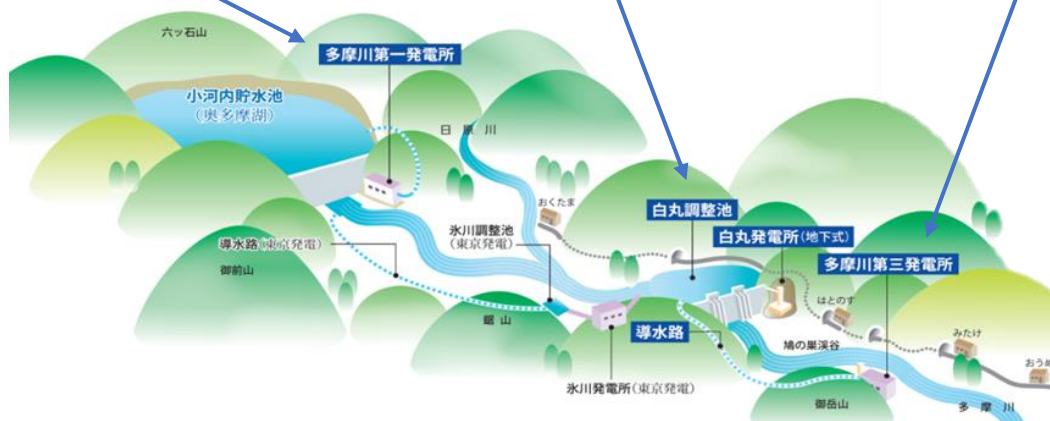
とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

(参考) 東京都交通局 電気事業の概要

- 交通局は、昭和32年から水力発電による電気事業を経営
- 1年間に発電する電力量は、3つの発電所合計で、概ね一般家庭約3万5千世帯の使用量に相当

区分	多摩川 第一発電所	白丸発電所	多摩川 第三発電所
使用開始年月	昭和32年12月	平成12年11月	昭和38年2月
最大出力	19,000kW	1,100kW	16,400kW
取水先	小河内貯水池	白丸調整池	白丸調整池
令和元年度 販売電力量	64,253千kWh	2,317千kWh	50,386千kWh

* 令和元年度における3発電所合計の販売電力量：約116,956千kWh



東京都交通局作成

発電所詳細については、東京都交通局のホームページをご覧ください

<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/other/hatsuden/>

以上

とどけ! 熱いエネルギー **ENEOS**